

平成 25 年度 授業評価・授業研究報告書

授業科目名：アドバンストスポーツ J

保健体育講座・石井浩一

1. 授業概要

科目区分：スポーツ健康科学課程スポーツ指導者養成コース、スポーツキャリア開発コース

科目名：アドバンストスポーツ J

担当教員名：石井浩一

登録学生数：12

1-1 授業の目的

これまでに獲得したスキルと知識を基にして、さらに高度なスキルと知識を習得する。

1-2 授業の到達目標

1-2-1 バasketボールの由来・特性について説明できる。

1-2-2 バasketボールの個人的技術が実践できる。

1-2-3 バasketボールの基礎的戦術が実践できる。

1-2-4 バasketボールのルールについて説明できる。

1-3 関連する DP(ディプロマ・ポリシー)

1-3-1 教科・教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。(知識・理解)

1-3-2 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。(関心・意欲)

1-4 授業の方法、形態

初めに、スキルチェックを行い、受講生の習熟度を把握した。以後は分習法と全習法を繰り返し行った。また、毎回アドバンスト・ノートという、授業省察した上での個人ノートの提出を義務づけた。

1-5 内容の概要

第 1 回：ガイダンス

第 2 回：ランニング・シュート、2 グループに分けて 1 on 1、スクリメージ (ゲーム形式のドリル)、審判法

第 3 回：2 メン、2 グループに分けて 1 on 1、スクリメージ、審判法

第 4 回：2 グループに分けて 1 on 1、スクリメージ、審判法

第 5 回：スクリメージ、審判法

第 6 回：ランニング・シュート、2 on 2 のコンビネーション、スクリーン・プレイ、スクリメージ、審判法

第 7 回：ランニング・シュート、フリースローからのリバウンド、スクリメージ、審判法

第 8 回：シューティング、3 on 3

第 9 回：1 on 1、2 on 2、3 on 3、スクリメージ、審判法

第 10 回：ランニング・シュート、2 メン、4 on 4、スクリメージ、審判法

第 11 回：ランニング・シュート、3 on 3、スクリメージ、審判法

第 12 回：ランニング・シュート、スクリメージ、審判法

第 13 回：ハーフコート 5 on 5、スクリメージ、審判法

第 14 回：ランニング・シュート、スクリメージ、審判法

第 15 回：DP による授業評価、アンケート、ルールテスト、スクリメージ、審判法

1-6 今年度、特に意識して取り組んだこと

- 1) 指導ことば
- 2) スキルアップへの高い意識
- 3) バasketボールの特性を理解させる
- 4) リーダーシップ

2. アンケート結果

Q1 教員の話し方や説明はわかりやすいですか？

とてもわかりやすい：1

まあまあわかる：7

わかりにくい：0

全くわからない：0

Q2 教員の進度は適切ですか？

- かなり速すぎる：0
- やや速すぎる：2
- 適切である：6
- やや遅すぎる：0
- かなり遅すぎる：0

Q3 授業のレベルは適切ですか？

- かなり難しすぎる：0
- やや難しすぎる：4
- 適切である：3
- やや易しすぎる：1
- かなり易しすぎる：0

Q4 教員は、授業を改善するよう努力していましたか？

- 改善の必要がなかった：1
- そう思う：9
- あまりそう思わない：0
- 全くそう思わない：0

Q5 シラバスに即した内容の授業が行われていましたか？

- とてもそう思う：3
- まあそう思う：6
- あまりそう思わない：1
- 全くそう思わない：0

Q6 あなたは、シラバスに記載されているこの授業の到達目標に達したと思いますか？

- とてもそう思う：5
- まあそう思う：4
- あまりそう思わない：0
- 全くそう思わない：0

Q7 この授業は全体的に満足のいくものでしたか？

- とてもそう思う：5
- まあそう思う：4
- あまりそう思わない：0
- 全くそう思わない：0

Q8 この授業の良い点について書いて下さい。

- 受講者が真剣で、向上心があった。経験者がアドバイスしてくれるなど、クラス全体で協力し合えた。
- スクリーン、ポスト・プレイなどの専門的なプレイを習得できた点
- 試合で使える内容を練習で行い、試合中で積極的に試みることができる雰囲気があった。
- 楽しい。技術指導がていねい。
- 雰囲気がよい。メリハリがある。
- レベルの高い授業だったのでよかった。
- 専門的知識・技能を深めることができる。
- レベルの高いバスケットボールができた。

Q9 この授業の改善すべき点について書いて下さい。

- 説明がちょっと長いので、もっと実践を多くできたらいいかなと思った。
- 専門的指導の時は、少し内容を易しくして教えてほしい。
- 戦術学習をもっとしたかった。
- 未経験者にも、もう少し易しい授業を。

3. 総括

筆者の自己省察とアンケート結果から、次年度への改善点を述べたい。

- 1) 指導ことばは、かなり意識して用いたつもりだが、スキルのあまり高くない受講生には、わかりにくい点もあったかもしれない。理解を促すために、少々説明が長くなっても致し方ない、と考えられる。
- 2) 戦術学習をもっとしたかった、という意見に対しては、率直にそう思う。ただし、人数がなかなか揃わない時もあり、思うように授業が展開できなかつた点は認めざるを得ない。
- 3) 実技の授業では、個々人に対して、どれくらいの時間を割いて指導するかが、常に問題として残る。今後とも、個人と全体の指導時間・質のバランスをうまくとりながら、指導していきたい。
- 4) 授業のよい点については、大変うれしく、自信にもなるし、今後の授業の励みにもなるので、継続していきたい。